

令和7年6月吉日発行

みんなが通える精神科

——倉吉病院から、

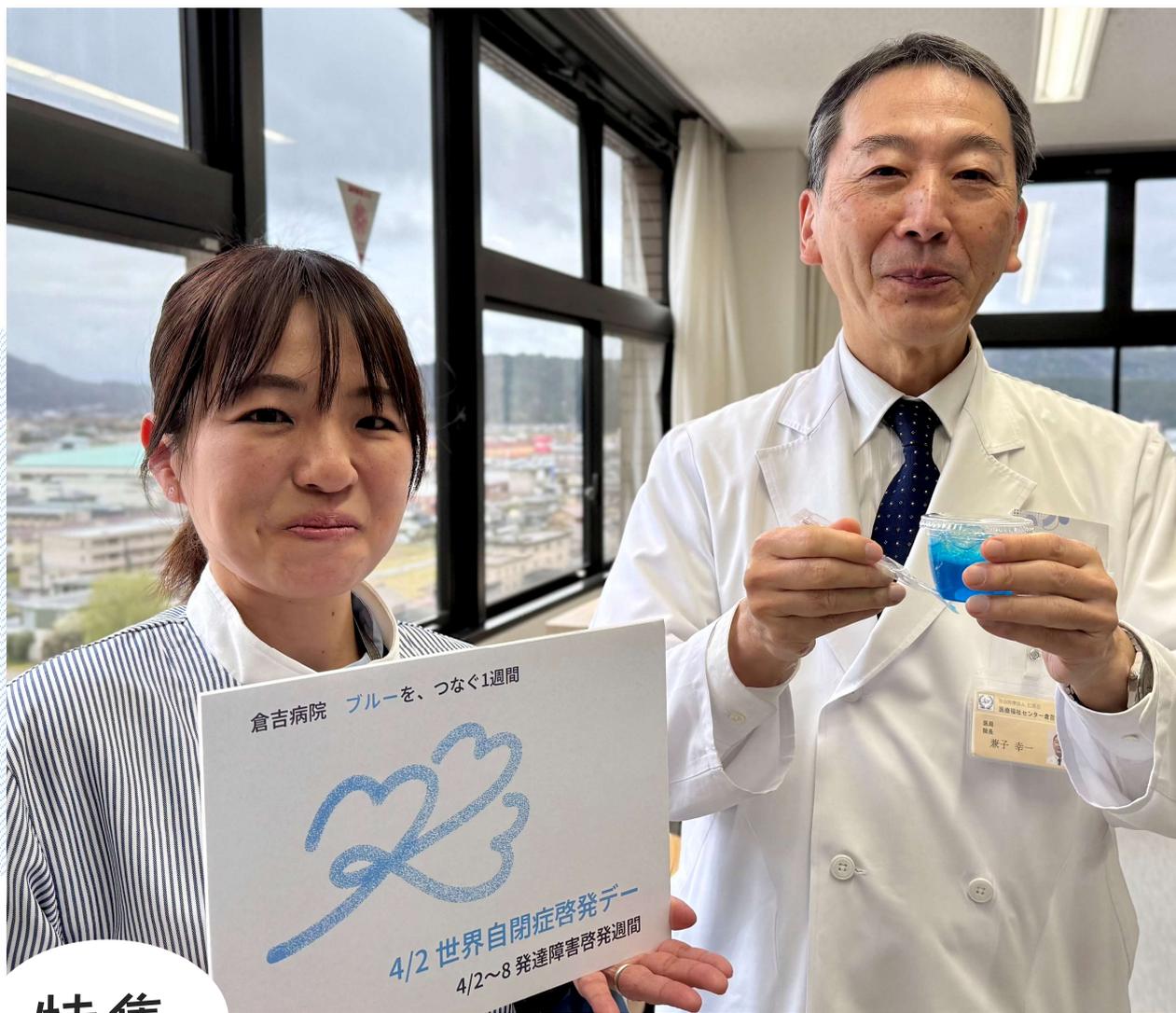
Kuraria

Vol.10

-無料-

ご自由にお持ち帰り下さい

リラックスとあんしんをお届けする
こころの広報誌 -クラリア-



特集

ブルーを、つなぐ1週間

世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間に寄せて

mental health, relaxation, relief and more.

こころをつなぐ、ブルーのゼリー

自閉症をはじめとする発達障害について

そして、誰もがたがいを支えあい共に生きられる社会に
思いをはせて 倉吉病院 「ブルーを、つなぐ一週間」



▼毎年、四月二日は世界自閉症啓発デーです。国連の定めたこの特別な日にあわせ、わたしたち倉吉病院も自閉症をはじめとする発達障害について、そして、誰もがたがいを支えあい共に生きられる社会について思いを寄せ、広く啓発する催し「ブルーを、つなぐ一週間」を開催しました。メインイベントは、二つ。自閉症啓発のシンボルカラー「ブルー」の光をつなぐ、倉吉病院中央棟のライトアップと、院内カフェ・もりのみでのブルーのゼリーの販売です。癒しや希望などを表すブルーに、シロップのまろやかな甘味と柑橘の爽やかな後味を効かせたブルーのゼリーは、啓発の一環として院内各所へ届けられたほか、鳥取県自閉症協会ご担当者様へもお受け取りいただきました。

中央棟 ライトアップ

自閉症啓発のシンボルカラー

「ブルー」をつなぐ、光のリレー



自閉症啓発展示ブース

▼当イベントの開催に寄せて、鳥取県自閉症協会・杉本様からのコメント／「素敵な企画をありがとうございます。ブルーのゼリーをいただきました。宝石のように輝く濃い青いゼリー、家族にも好評でした。自閉症の子を持つ親として、一人で抱え込まず、親同士心を軽くして子育て出来たらいいなと思っています。青いゼリーにブルーライト、とってもきれいです。今後ともご支援よろしくお願います」



鳥取県自閉症協会・杉本様（右）



院内カフェもブルーの装い

▼「ブルーを、つなぐ一週間」の開催期間は、四月二日から八日まで。精神科病院として地域に開かれたオープンホスピタル構想を推進する当院にとっても、自閉症をはじめとする発達障害当事者の方とそのご家族への貢献の意志をあらためて胸に刻む大切な契機となりました。多くの方のご協力を賜る中、院内併設のカフェでは障害者支援施設のご利用者が制作されたブルーの可愛い飾りつけなども彩りを添えて下さいました。



院内での啓発活動の一場面

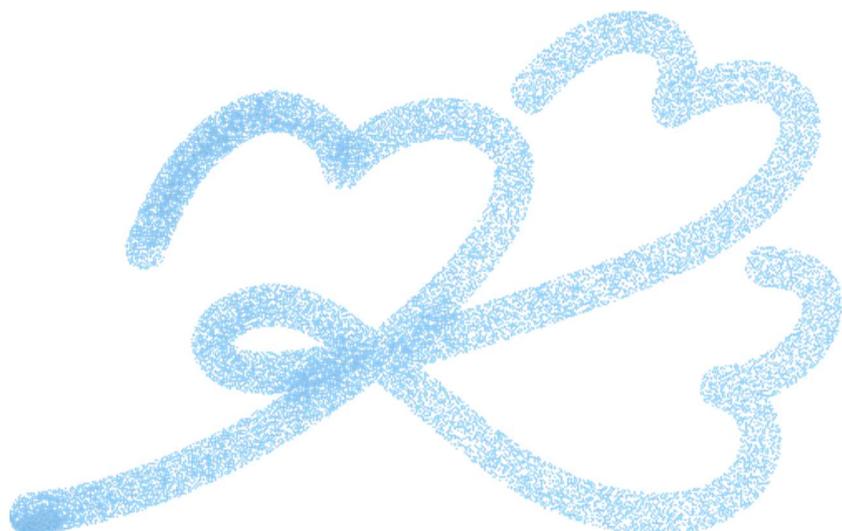
▼自閉症をはじめとする発達障害について、そして、誰もがたがいを支えあい共に生きられる社会について思いをはせる当院の催し「ブルーを、つなぐ一週間」は、世界自閉症啓発デー日本実行委員会公式サイトにて「全国の団体・企業の取り組み二〇二五」に正式登録されています。自閉症と世界自閉症啓発デーについて、詳しくは世界自閉症啓発デー日本実行委員会の公式サイトをご覧ください。



出典：世界自閉症啓発デー日本実行委員会公式サイト
<https://www.worldautismawarenessday.jp/>

倉吉病院 ブルーを、つなぐ1週間

ご協力ありがとうございました。



4/2 世界自閉症啓発デー

4/2～8 発達障害啓発週間



社会医療法人仁厚会 医療福祉センター倉吉病院

診療科目 [精神科]

予診受付 [月曜～金曜 / 午前9:00 - 午後5:00]

[完全予約制] ☎ (0858) 26-1190 (倉吉病院/地域連携室)

通常外来休診日 [土日祝日]

緊急の場合は、夜間・休日も

代表番号 (0858) 26-1011 でご相談をお受けします

所在地 〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43番地

電話 (代表) (0858) 26-1011

F A X (0858) 26-4794

外来アゼリア (0858) 26-1088

精神科デイナイトケア (0858) 26-4887

認知症疾患医療センター (0858) 26-1015

こころがつかなくなったら、まずはご相談ください